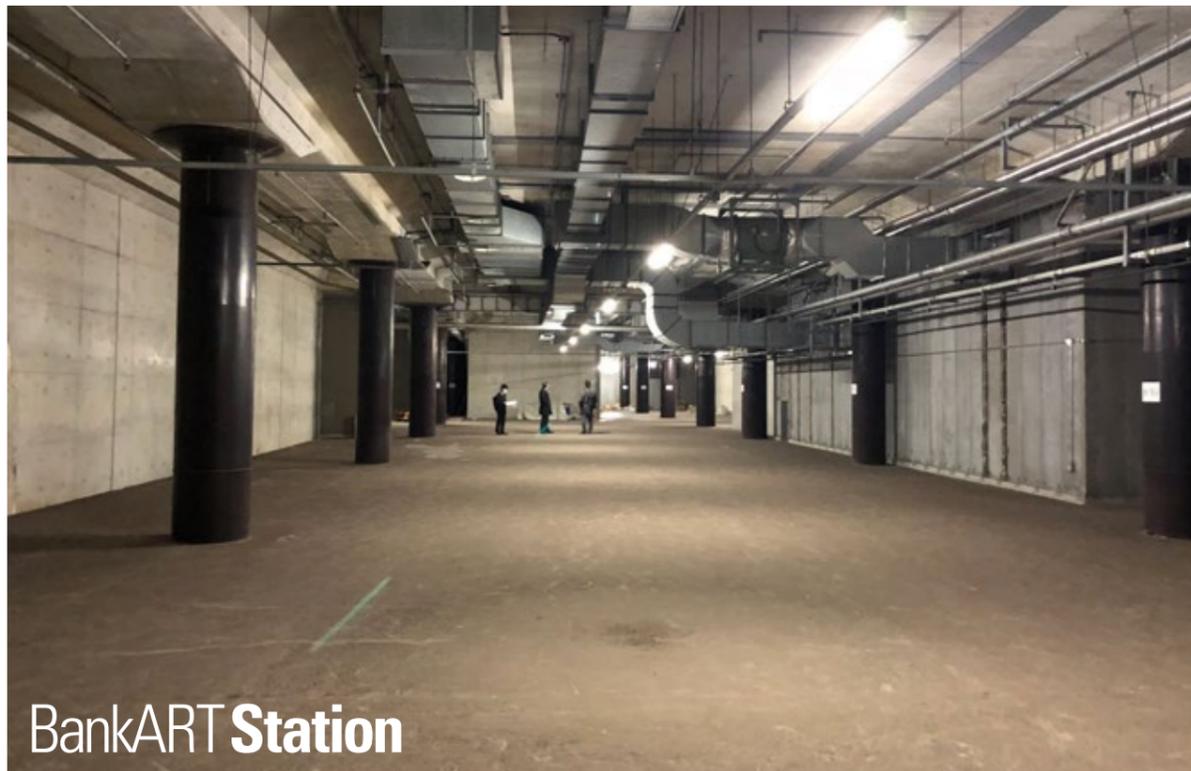


- BankART1929の新拠点決定!
- バンカースクール受講生募集!
- R16 オープンスタジオ開催!
- 新刊発売『宮本隆司:首くくり拷問』
- 続・朝鮮通信使2018

BankART NEWS Vol.14

発行: BankART1929
2019年1月15日発行

BankART1929の新拠点決定!



BankART Station

横浜市文化観光局の「文化芸術創造発信拠点形成事業者募集」のコンペに応募し、正式に運営者として、選考されましたので、ここに報告します。2018年3月末で終了した BankART Studio NYK の代替地として新たにスタートをきる予定です。

■ BankART Station

みなとみらい線 新高島駅地下1階倉庫部分

2019年2月8日[金] グランドオープン
(11:00~内覧会、18:00~オープニングパーティー)

2月11日[月] TPAMレセプション

3月1日[金]~24日[日] 「雨ニモマケズ (Singing in the Rain)」展
会場: BankART Station + R16 STUDIO

4月1日[月]~6月12日[水] BankART AIR 2019
(5/31~6/9 オープンスタジオ)

スタジオアーティスト募集中! 詳細は別刷りチラシ・HPにて

■ BankART SILK

シルクセンター1階(設計:坂倉準三)

*関内地区にも拠点を持つことが同コンペの条件だったため、ここを選びました。

2月1日[金]~24日[日] 高橋啓祐展「映像と身体」

2月27日[金]~3月8日[金] 矢内原充志展

3月18日[金]~31日[日] 宮本隆司「首くくり拷問」出版記念展



BankART SILK



■ BankART Home

2018年5月からオープンしているブックショップ & カフェも引き続き営業。

■ その他(継続オープン)

BankART 妻有、BankART レジデンス(長者町)、BankART オフィス

【期間】平成30年度の基本協定締結後から2022年3月31日まで。



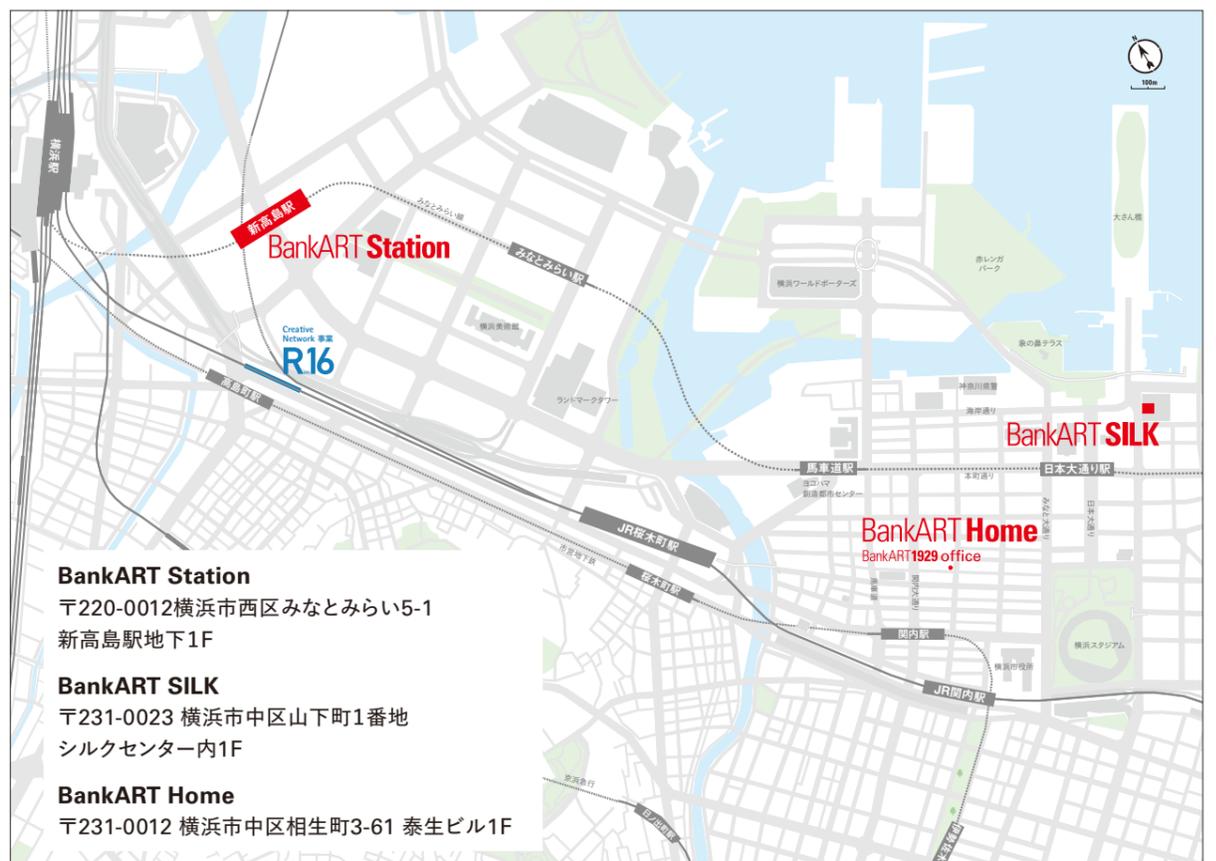
BankART Home



BankART Residence



BankART 妻有



BankART Station
〒220-0012横浜市西区みなとみらい5-1
新高島駅地下1F

BankART SILK
〒231-0023 横浜市中区山下町1番地
シルクセンター内1F

BankART Home
〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル1F

バンカートスクール 2019年2-3月期受講生募集!

BankART school 2019年2月～3月期の受講生の募集がはじまりました。
是非みなさんご参加ください。

2-3月 詳細は別刷りチラシ・HPにて

- 月**「なぜ写真か? part2」鈴木理策 @BankART Home
①2/4 ②2/18 ③2/25 ④3/4 ⑤3/11 ⑥3/18 ⑦3/25 ⑧4/1
- 火**「朝鮮通信使 part3」仲尾 宏、他 @BankART SILK
①2/5 ②2/12 ③2/19 ④2/26 ⑤3/5 ⑥3/12 ⑦3/19 ⑧3/26
- 水**「不連続統一体・発見的手法」TeamZOO @BankART Station
①2/6 ②2/13 ③2/20 ④2/27 ⑤3/6 ⑥3/13 ⑦3/20 ⑧3/27
- 木**「美術館の読み方、楽しみ方3 世界編」村田 真+和田菜穂子@BankART Home
①2/7 ②2/14 ③2/21 ④2/28 ⑤3/7 ⑥3/14 ⑦3/21 ⑧3/28
- 金**「歴史的建造物保存活用のターニングポイント」@BankART SILK
①2/15 ②3/8 ③3/15 ④3/16 ⑤3/22 ⑥3/29 ⑦4/6 ⑧4/13

BankART schoolの概要 | 時間=19:30~21:00 会場=BankART Home、BankART SILK、BankART Stationにて
料金=1講座12,000円 入学金3,000円(初めての方のみ) 定員=18名
お申し込み方法 | ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。
お申し込み・お問い合わせ | BankARTスクール事務局 school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813



続・朝鮮通信使2018

F1963での展覧会(韓国釜山)
2018年11月17日~12月23日

釜山文化財団が新しく関わることになった、現在の韓国でもっともピットな場所「F1963」で開催されたグループ展に参加してきた。ここは2年前、釜山ビエンナーレの第二会場として使用されたワイヤー会社の工場跡。そのときは主にファサードだけが新しくつられ、中は雨も降るし、巨大な機械があちこちに残っているし、まるで廃墟の中での展覧会のように、非常にアナーキな空間だった。今回は見事にリノベーションされ、古い工場と新しくつくれた白い壁面や天井、鋼鉄製の工場ラインをそのまま残したカフェのカウンターなどがうまく反応し、見違える空間に変身を遂げていた。総面積は4,500㎡で、アート部門はおさえて全体の1/3程度。ビールやまっごりの醸造所、パンケットルーム、図書館、ブックショップ、カジュアルなカフェ、中庭のイベント広場などが、連続した空間の中に次々と現れ、生活空間の楽しみや豊かさを強調した会場になっている。また社員寮だった場所も、シンプルなホテルタイプの宿泊施設(80部屋)に改装され、心地よい空間を提供していた。

我々BankARTの展示空間は約350平米。丸山純子さんの花と高橋啓祐さんの映像のコラボレーション。BankART Life Vの再現に近い作品だが、部屋の大きさも、コンディションも異なるので、あたらしいインスタレーションとして、自然で新鮮な感じでの新しい「工場空間」にヒットしていた。会期は2018年11月17日~12月23日。釜山の駅から車で30~40分の場所に位置する会場だ。



R16 オープンスタジオ開催!

「R16~国道16号線スタジオ」の初めてのオープンスタジオが、開催された。
高架下の各部屋のコンディションは、内というよりも「半分以上外」といった具合の空間だ。雨風、虫、車の騒音、根岸線の電車の通過する音、そんな悪条件の中でも皆さん、結構淡々と作業をオープンの日迄続けてこられた。ここを使用することに手をあげた人たちなので、当然といえば当然だが、実際に台風等の大変さを一度経験すると萎縮してしまいそうな空間だ。まあとにかく、みんなこの空間と戦った。なぜこんなところで、無理してこんなことするのか?ここを見た人はそう思うかもしれない。
でもアーティストって、新しい空間が生成することをとびきり興味をもつ人たちなので、都市の中で忘れられ、眠っていた場所が、開き、共有されることに何よりも喜びを感じるのだ。地域の人、行政マン、一般人、アーティスト、関係者など、レセプションには約250名、3日間で800人に近い人たちがこの場所を訪れてくれた。
これからどうなっていくかは?????????



編集後記

○新拠点がようやく始動する。様々な人たちのおかげである。感謝。
○新しい拠点は、新しい街の人と出会う。みなとみらい新高島エリアの超高層ビル群の人々、山下町1丁目の昭和期の横浜を形成した人たち、関内地区の横浜の古くからの商いの人たち
○新しい4つの拠点は、なんらかのかたちでつながっている。みなとみらい線日本大通り駅のBankART SILKと新高島駅地下1FのBankART Stationは電車4分。BankART StationとR16スタジオ(BankARTが事務局/東横線高架下)は徒歩6分。BankART Homeは少し離れているけど、ブルーライン(関内)でも、みなとみらい線(馬車道)でも、徒歩でもなんとかいける。
○BankART1929がスタートした2004年3月6日のときも、どうなるか全く予想ができなかった。15年経た2019年の今も、正直いってまったくどうなるか予想ができない。
ただ、あのころと違うところは、数千人のクリエイターや数百人の行政マンや数えきれないファンの人たちの顔を思い出す事ができることだ。続けようと思う。

BankART出版より

新刊発売『宮本隆司:首くり拷象』

B5版 108p/ハードカバー/2,200円+税

写真家・宮本隆司による初の人物写真集を出版!

建築解体現場を撮影した「建築の黙示録」(1986年)、香港の高層スラムを撮った「九龍城砦」(1988年)など建築、都市の変容、崩壊と再生の光景を独自の視点で撮影してきた写真家・宮本隆司による初の人物写真集。2018年3月に永眠した「首くり拷象」の、庭劇場での姿を追う渾身の一撃。



BankART 1929 office

〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル410

TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

info@bankart1929.com www.bankart1929.com